

期待する子供像：

進んで仲間と関わり、仲間のよさやちがいを認め合って活動する福寿の子

1 成果

「にこにこタイム」の設定について

・朝の健康観察後、8：15～8：45の30分程度の時間を、児童が自由に活動できる「にこにこタイム」として設定した。

教室・運動場の遊具・会議室・図書室・体育館を開放し、場所とそこでできる活動を紹介しながら、児童が自分で活動場所や活動内容を選択できるようにした。

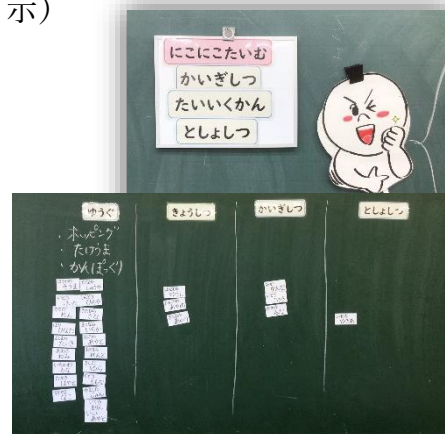
3月の園との引継ぎ時に得た情報や、年度末の1年生児童との交流時の児童の様子を基に、遊び道具の準備や活動場所等の環境を整え、4月を迎えた。

「にこにこタイム」の成果

- ・学級の仲間や学年の仲間と遊びを通して仲良くなる機会となった。
- ・昨年度と比較し、欠席者や遅刻者が減った。
- ・続けていく中で、自分たちで遊びを考えたり、自然と触れ合ったりして、活動が広がった。
- ・活動後の授業に落ち着いて取り組めた。



計画（遊びの自己選択ができる掲示）



今後の課題等（来年度に向けての考えていきたいこと）

- ・児童の活動内容が広がるような環境設定と活動を見届ける教師の配置。
- ・自分の好きなことが見つかり、得意なことに変化していくような取組の在り方。
- ・遊びが学びにつながっていく教師の援助や支援の方法。
- ・その日の活動が次の日の活動につながっていく児童の振り返りの方法。